

表11. 相談件数と施設状況(医療水準調査項目)との関連(つづき 4/5)

		H20年度相談件数 (件/2ヵ月)	H21年度相談件数 (件/2ヵ月)	H20からH21年度の増加件数 (H21-H20)	H19年度シート数	H20年度シート数	H21年度シート数	2件以上/週の増加あり(H20-H19)	2件以上/週の増加あり(H21-H20)	2件以上/週の増加あり(H21-H19)	H19院外相談件数/全相談件数	H20院外相談件数/全相談件数	H21院外相談件数/全相談件数		
IV.1	対面相談に対応している	1) 予約不要 2) 予約制 3) なし	-0.05 -0.08 -0.12 *	-0.06 -0.02 -0.04	0.06 0.02 -0.04	-0.04 -0.09 -0.09	0.00 -0.03 -0.08	-0.09 -0.04 -0.08	-0.09 -0.05 -0.05	-0.09 -0.05 -0.05	-0.04 0.01 0.01	-0.04 0.01 0.01	-0.04 0.01 0.01		
IV.2	電話相談に対応している	1) 予約不要 2) 予約制 3) なし	-0.15 ** -0.14 ** -0.02	-0.03 -0.04 -0.02	-0.03 0.13 * 0.13 *	-0.04 0.10 0.10 *	-0.09 0.10 0.01	-0.01 0.01 0.08	-0.07 -0.05 -0.05	-0.05 -0.05 -0.05	-0.05 0.01 0.01	-0.05 0.01 0.01	-0.05 0.01 0.01		
IV.3	FAXによる相談に対応している	1) している 2) していない 3) している(受付のみも含む)	0.09 0.06 -0.04	0.13 * 0.13 * 0.10 *	0.09 0.08 0.07	0.09 0.00 -0.02	0.05 -0.02 -0.07	-0.06 -0.02 -0.07	-0.06 -0.01 -0.05	-0.06 -0.01 -0.05	0.05 0.05 0.05	0.08 0.08 0.08	0.08 0.08 0.08		
IV.4	電子メールによる相談に対応している	1) している 2) していない	0.03 0.06 0.02	0.08 0.07 0.00	0.09 0.09 -0.02	0.09 0.00 -0.02	0.03 -0.02 -0.07	-0.02 -0.01 -0.05	-0.02 -0.01 -0.05	-0.02 -0.01 -0.05	0.09 0.09 0.09	0.03 0.03 0.03	0.03 0.03 0.03		
IV.5	相談対応日	1) 平日毎日 2) 限られた曜日のみ 3) 1) 日祝日に対応 2) 土曜日に対応 3) 土日対応なし 4) 17時30分以降の対応あり 5) 日中の対応(8時30分or 9時～17時or 17時30分)	-0.03 0.01 0.05	-0.06 -0.06 -0.05	-0.06 -0.06 -0.06	-0.06 -0.15 ** -0.11 *	-0.06 -0.11 * -0.12 *	-0.06 0.00 -0.01	-0.05 -0.05 -0.04	-0.05 -0.01 -0.04	0.10 0.10 0.10	0.14 ** 0.14 ** 0.14 **	0.08 0.08 0.08		
IV.6	相談対応日(土日祝の対応)	1) ある 2) ない	-0.10 -0.09 -0.03	-0.06 -0.15 ** -0.11 *	-0.06 -0.15 ** -0.11 *	-0.06 -0.12 *	-0.06 0.00 -0.01	-0.05 -0.05 -0.01	-0.05 -0.01 -0.04	-0.05 -0.01 -0.04	-0.01 -0.01 -0.04	-0.08 0.08 0.08	-0.08 0.08 0.08		
IV.7	相談対応時間	1) 半日の対応 2) 1) ある 2) ない	-0.10 -0.11 * -0.09	-0.02 -0.02 -0.02	-0.02 -0.02 -0.10	-0.02 -0.02 -0.10	-0.05 -0.05 -0.04	-0.05 -0.01 -0.04	-0.05 -0.01 -0.04	0.10 0.10 0.10	0.14 ** 0.14 ** 0.14 **	0.08 0.08 0.08			
IV.8	相談の記録を残してある	1) ある 2) ない	-0.09 -0.11 *	0.03	0.00 -0.06 -0.06	-0.06 -0.14 *	0.01 0.01 -0.06	-0.06 -0.14 *	-0.06 -0.01 -0.06	-0.15 * -0.08 -0.08	-0.08 -0.08 -0.08	-0.08 -0.08 -0.08			
IV.9	よくある質問をQ&A集としてまとめてある	1) 定期的に検討し、活用している 2) 不定期に検討し、活用している 3) 定期的に検討しているが、活用できていない 4) 不定期に検討しているが、活用できっていない 5) 實施していない	-0.09 -0.11 *	0.03	0.00 -0.06 -0.06	-0.06 -0.14 *	0.01 0.01 -0.06	-0.06 -0.14 *	-0.06 -0.01 -0.06	-0.15 * -0.08 -0.08	-0.08 -0.08 -0.08	-0.08 -0.08 -0.08			
IV.10	利用者からの満足度、意見等の利用	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.03 0.00	0.05	-0.07 -0.06 -0.04	-0.07 -0.06 -0.04	-0.03 0.04 -0.06	-0.03 0.04 -0.06	-0.03 0.04 -0.06	-0.08 -0.06 -0.06	-0.08 -0.06 -0.06	-0.08 -0.06 -0.06			
V.1	県内のすべての拠点病院の概要について情報を提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.05 -0.04	-0.02	-0.08 -0.06 -0.05	-0.10 -0.09 -0.07	-0.11 * -0.07 0.00	-0.07 -0.06 -0.03	-0.07 -0.06 -0.03	-0.08 0.01 0.01	-0.08 0.01 0.01	-0.08 0.01 0.01			
V.2	県内のすべての拠点病院のがん・種ごとの対応状況について情報を提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.04 -0.06	-0.01	-0.06 -0.09 -0.07	-0.09 -0.07 -0.05	-0.08 -0.08 -0.06	-0.08 -0.01 -0.06	-0.08 -0.01 -0.06	-0.12 * -0.09 -0.09	-0.12 * -0.09 -0.09	-0.12 * -0.09 -0.09			
V.3	地域の拠点病院以外のがんに対応できる医療機関について情報を提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.05 -0.02	0.03	-0.09 -0.05 -0.07	-0.05 -0.07 -0.12 *	-0.07 -0.11 -0.12 *	-0.07 -0.06 -0.02	-0.07 -0.06 -0.02	-0.02 0.06 0.06	-0.02 0.06 0.06	-0.02 0.06 0.06			
V.4	地域でがんの緩和ケアに対応できる医療機関について情報を提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.06 -0.07	-0.02	-0.14 *	-0.12 -0.12 *	-0.12 *	-0.03 -0.02 -0.02	-0.03 -0.02 -0.02	-0.13 * -0.09 -0.09	-0.13 * -0.09 -0.09	-0.13 * -0.09 -0.09			
V.5	地域のセカンドオピニオンに対応する医療機関についての情報を提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.05 -0.01	0.02	-0.11 -0.12 *	-0.12 *	-0.06 -0.06	-0.03 0.03 0.04	-0.03 0.03 0.04	-0.07 -0.02 -0.02	-0.07 -0.02 -0.02	-0.07 -0.02 -0.02			
V.6	地域の相談窓口等の情報を提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.12 *	-0.07	0.00	0.02 -0.05 -0.09	-0.05 -0.09 -0.06	-0.05 -0.04 -0.06	-0.05 -0.04 -0.06	-0.05 0.03 0.03	-0.05 0.03 0.03	-0.05 0.03 0.03			
V.7	がんに関する一般的な医療情報について提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.09 -0.06	0.01	-0.10 -0.08 -0.06	-0.08 -0.06 -0.05	-0.06 -0.07 -0.05	-0.07 -0.01 0.03	-0.07 -0.01 0.03	-0.13 * -0.03 -0.03	-0.13 * -0.03 -0.03	-0.13 * -0.03 -0.03			
V.8	中皮膚に関する情報を提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.12 *	-0.07	0.01	-0.12 *	-0.18 *** -0.12 *	-0.12 *	-0.10 -0.03 -0.10	-0.02 -0.02 -0.02	-0.02 -0.08 -0.08	-0.02 -0.08 -0.08			
V.9	地域の患者会に関する情報を提供できる	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.17 ** <td>-0.13 *</td> <td>0.03</td> <td>-0.14 *</td> <td>-0.24 ***<td>-0.23 ***</td><td>-0.23 ***</td><td>-0.06 -0.08 -0.10</td><td>-0.09 -0.09 -0.09</td><td>-0.09 -0.08 -0.08</td><td>-0.09 -0.08 -0.08</td></td>	-0.13 *	0.03	-0.14 *	-0.24 *** <td>-0.23 ***</td> <td>-0.23 ***</td> <td>-0.06 -0.08 -0.10</td> <td>-0.09 -0.09 -0.09</td> <td>-0.09 -0.08 -0.08</td> <td>-0.09 -0.08 -0.08</td>	-0.23 ***	-0.23 ***	-0.06 -0.08 -0.10	-0.09 -0.09 -0.09	-0.09 -0.08 -0.08	-0.09 -0.08 -0.08		
V.10	患者さんのニーズなどの意識調査を実施している	1) いる 2) いない	-0.02 0.03	0.08	0.00 -0.01 0.01	-0.01 -0.01 -0.01	0.01 0.01 0.01	-0.02 -0.04 -0.10	-0.02 -0.04 -0.10	-0.04 -0.04 -0.04	-0.04 -0.03 -0.03	-0.04 -0.03 -0.03			
V.11	地域のニーズなどの意識調査を実施している	1) いる 2) いない	-0.02 0.02	0.06	-0.01 -0.05 -0.05	-0.01 -0.05 -0.05	0.00 0.00 0.00	-0.10 -0.04 -0.07	-0.10 -0.04 -0.07	-0.06 -0.06 -0.13 *	-0.06 -0.06 -0.13 *	-0.06 -0.06 -0.13 *			
V.12	都道府県連絡協議会に相談支援センターのサブグループが設置されている	1) いる 2) いない	-0.12 *	-0.08	0.02	-0.15 ** <td>-0.18 ***</td> <td>-0.12 *</td> <td>-0.06 -0.01 0.02</td> <td>-0.06 -0.01 0.02</td> <td>-0.16 **<td>0.02</td><td>-0.16 **<td>0.02</td></td></td>	-0.18 ***	-0.12 *	-0.06 -0.01 0.02	-0.06 -0.01 0.02	-0.16 ** <td>0.02</td> <td>-0.16 **<td>0.02</td></td>	0.02	-0.16 ** <td>0.02</td>	0.02	
V.13	都道府県連絡協議会に設置されている相談支援センターのサブグループに参加している	1) いる 2) いない	-0.11 *	-0.08	-0.04	-0.17 ** <td>-0.16 **</td> <td>-0.15 **</td> <td>-0.09 -0.05 0.00</td> <td>-0.09 -0.05 0.00</td> <td>-0.11 0.07 0.07</td> <td>-0.12 *<td>-0.02</td><td>-0.12 *<td>-0.02</td></td></td>	-0.16 **	-0.15 **	-0.09 -0.05 0.00	-0.09 -0.05 0.00	-0.11 0.07 0.07	-0.12 * <td>-0.02</td> <td>-0.12 *<td>-0.02</td></td>	-0.02	-0.12 * <td>-0.02</td>	-0.02
V.14	県内の拠点病院の相談支援センターと他の医療機関との情報を交換している	1) 情報を交換する体制となっている 2) 個人レベルで情報を交換している 3) あまりされていない	-0.03 0.00	-0.05	-0.07 -0.09 -0.09	-0.07 -0.09 -0.09	-0.09 -0.09 -0.09	-0.09 0.01 -0.02	-0.09 0.01 -0.02	-0.06 -0.02 -0.02	-0.06 -0.02 -0.02	-0.06 -0.02 -0.02			
V.15	県内の拠点病院の相談支援センターと他の医療機関との情報を共有している	1) 情報を共有する体制となっている 2) 個人レベルで情報を共有している 3) あまりされていない	-0.04 0.00	-0.03	-0.16 ** <td>-0.14 **</td> <td>-0.11 *</td> <td>-0.18 **<td>-0.18 **</td><td>-0.03 -0.06 -0.06</td><td>-0.12 *<td>-0.02</td><td>-0.12 *<td>-0.02</td></td></td></td>	-0.14 **	-0.11 *	-0.18 ** <td>-0.18 **</td> <td>-0.03 -0.06 -0.06</td> <td>-0.12 *<td>-0.02</td><td>-0.12 *<td>-0.02</td></td></td>	-0.18 **	-0.03 -0.06 -0.06	-0.12 * <td>-0.02</td> <td>-0.12 *<td>-0.02</td></td>	-0.02	-0.12 * <td>-0.02</td>	-0.02	
V.16	県内の医療機関の情報について、都道府県の調査データを利用している	1) ある程度されている 2) あまりされていない	-0.06 0.02	0.06	-0.04 -0.08 -0.03	-0.04 -0.08 -0.03	-0.03 -0.03 -0.03	-0.04 0.07 0.02	-0.04 0.07 0.02	-0.01 0.03 0.03	-0.01 0.03 0.03	-0.01 0.03 0.03			

*:p<0.05, **: p<0.01, ***: p<0.001

表11. 相談件数と施設状況(医療水準調査項目)との関連(つづき 5/5)

	H20年度相談件数 (件/2ヶ月)	H21年度相談件数 (件/2ヶ月)	H20からH21年度の増加件数 (H21-H20)	H19年度シート数	H20年度シート数	H21年度シート数	20件以上/週の増加あり(H20-H19)	20件以上/週の増加あり(H21-H20)	20件以上/週の増加あり(H21-H19)	H19院外相談件数/ 全相談件数	H20院外相談件数/ 全相談件数	H21院外相談件数/ 全相談件数	
VI.1 相談対応について自施設でマニュアルとしてまとめている 「がん専門相談員のための学習の手引き」(がん対策情報センター発行)を活用している	1)している 2)していない	-0.11 *	-0.14 **	-0.09	-0.08	-0.11 *	-0.10	-0.09	-0.11	-0.08	-0.14 **	-0.14 **	
VI.2 相談対応マニュアルは、定期的に見直しを実施している	1)している 2)していない	0.07	0.08	-0.05	0.08	0.01	0.12 *	-0.08	0.12 *	0.13 *	-0.04	0.01	0.01
VI.3 相談事例に対する対応内容について定期的に検討会を実施している	1)している 2)していない 1)毎週2回以上 2)毎週1回 3)月1回 4)月1回未満 5)実施していない	-0.08	-0.12 *	-0.07	-0.05	-0.08	-0.14 **	-0.13 *	-0.05	-0.17 **	-0.03	-0.05	-0.05
VI.4 相談事例の傾向の分析から問題の抽出をおこなっている	1)十分にされている 2)ある程度されている 3)あまりされていない	-0.12 *	-0.16 **	-0.04	-0.09	-0.18 ***	-0.21 ***	-0.11	-0.01	-0.06	0.04	0.13 *	0.13 *
VI.5 院内の関係部署のスタッフと定期的なカンファレンスを実施している	1)毎週2回以上 2)毎週1回 3)月1回 4)月1回未満 5)実施していない	-0.14 **	-0.20 ***	-0.03	-0.09	-0.13 *	-0.16 **	-0.11	-0.03	-0.04	-0.11	-0.07	-0.07
VI.6 国立がんセンターがん対策情報センターが実施した基礎研修会(1)に参加した相談支援センタースタッフいる	1)いる 2)いない	-0.14 ***	-0.21	-0.05	-0.20 ***	-0.21 ***	-0.25 ***	-0.10	-0.07	-0.11	0.12 *	0.14 *	0.14 *
VI.7 国立がんセンターがん対策情報センターが実施した基礎研修会(2)に参加した相談支援センタースタッフいる	1)いる 2)いない												
VI.8 国立がんセンターがん対策情報センターが実施した基礎研修会(3)に参加した相談支援センタースタッフいる	1)いる 2)いない												
VI.9 がん対策情報センターで配布した講習会・研修会DVD	1)いる 2)いない	0.04	0.02	-0.02	-0.08	0.06	-0.04	0.12 *	-0.04	-0.06	0.00	-0.02	-0.02
VI.10 相談業務に関連した学会・研究会等における活動	1)視聴した 2)未視聴	0.04	0.05	0.02	-0.02	-0.05	-0.01	-0.05	0.01	0.01	-0.01	0.01	0.01
VI.11 スタッフが院外研修等に出る際のバックアップ体制	1)残りのスタッフでカバーする 2)他部署からの応援でカバーする 3)研修中は一部サービスを縮小する 1)書き込んだことがある	-0.27 ***	-0.31 ***	-0.10	-0.26 ***	-0.29 ***	-0.29 ***	-0.14 *	-0.05	-0.12 *	-0.10	-0.01	-0.01
VI.12 国立がんセンターがん対策情報センター相談員掲示板について	2)定期的に参照している 3)見たことがある 4)見たことがない	-0.03	-0.05	-0.05	-0.08	-0.08	-0.04	-0.08	0.03	0.03	-0.09	-0.01	-0.01
VI.13 国立がんセンターがん対策情報センターの「相談支援センター相談員サポートメールングリッド」について	1)投稿したことがある 2)登録し、購読している 3)登録していない	-0.16 **	-0.17 **	-0.03	-0.19 ***	-0.20 ***	-0.09	-0.09	0.09	0.06	-0.07	-0.09	-0.09

*p<0.05, **: p<0.01, ***: p<0.001

平成23年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）

相談支援センターの機能の強化・充実と地域における

相談支援センターのあり方に関する研究

(研究代表者：高山 智子)

分担研究報告書

全国の相談支援センター関係者との情報共有の場とそうした場のニーズに関する検討

研究分担者

高山 智子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部
朝倉 隆司	東京学芸大学医療社会学 保健医療行動科学
池山 晴人	近畿中央胸部疾患センター・地域医療連携室
石川 瞳弓	静岡県立静岡がんセンター研究所 患者・家族支援研究部
大松 重宏	兵庫医科大学・社会福祉学部
岡本 直幸	神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防情報研究部門
小川 朝生	国立がん研究センター東病院精神腫瘍学開発部・精神腫瘍学
加藤 雅志	国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部
唐渡 敦也	公益財団法人がん研究会 医療支援センター・企画部
菊内 由貴	国立病院機構四国がんセンターがん相談支援・情報センター
八巻 知香子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部
田尾 絵里子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部

研究協力者

小郷 祐子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部
鈴木 望	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部

研究要旨

全国の相談支援センターに関わるものたちが、互いの取り組みについて情報交換や共有する場はなく、互いの活動状況を知ることは難しい。互いの活動を知ることは、さらなる相談支援センターの発展や課題を克服するきっかけともなり、また全国の相談支援センターの均てん化にも重要な役割を果たすと考えられる。そこで、全国の相談支援センターに関わる人たちを対象とした講演会を企画し、情報共有の場に対して、どのようなニーズがあるのかについて検討を行った。

「がん相談支援研究会」では、各地域の相談支援センターの現状・動向・広報などをテーマにした全国の相談員 10 名による特別講演とパネルディスカッションにより構成され

た。全国 43 都道府県から参加者があり、事後のアンケート調査からは、講演会にて聞きたかった内容として「がんサロンの運営など」や「病院内の相談支援センターの体制作り」が上位にあげられ、他者や他施設から学びたいとする相談支援関係者のニーズは高いことが考えられた。

今回のような全国の相談支援センターの関係者が集うことができる場は、互いの相談支援センター同士の情報共有の場や、相談支援の標準化や均てん化に向けた活動の一つとして非常に重要であると考えられ、今後もこのような場を作り、継続していくことが必要であると考えられた。

A. 研究目的

がん対策推進基本法（H19 年）の施行以降 5 年目となり、がん診療連携拠点病院や相談支援センターの体制整備が徐々に進められてきた。相談支援センターで行われている取り組みも、その地域や病院の特性に合わせて、徐々に新たな取り組みがはじめられている。しかしながら、全国の相談支援センターに関わるものたちが、互いの取り組みについて情報交換や共有する場はなく、互いの活動状況を知ることは難しい。互いの活動を知ることは、さらなる相談支援センターの発展や課題を克服するきっかけともなり、また全国の相談支援センターの均てん化にも重要な役割を果たすと考えられる。

そこで、このたび、全国の相談支援センターに関わる人たちを対象とした講演会を企画し、情報共有の場に対して、どのようなニーズがあるのかについて検討を行った。

B. 研究方法

H23 年 8 月 6 日に、「がん相談支援研究会」を行った。この研究会は、相談支援センターの後の活動をより充実させ、全国相談支援センターの均てん化を目指すことを目的とした。また、互いの情報共有の場と

するために、各地域の相談支援センターの現状・動向・広報などをテーマにした全国の相談員 10 名による特別講演を行い、パネルディスカッションを実施した。当日プログラムと発表演題詳細については、資料を参照。

なお広報については、全国のがん診療連携拠点病院相談支援センターのメーリングリスト（全 388 施設登録）を介して行った。
(倫理面への配慮)

本研究会の開催および参加者からのアンケート調査については、自由意思に基づいて参加または回答するものであり、調査はすべて無記名で行うものであるため、個人情報等について問題はないと考えられる。

C. 研究結果

「がん相談支援研究会」は、平成 23 年 8 月 6 日（土）11 時 00 分～17 時 00 分に、独立行政法人国立がん研究センター内で実施した。相談支援センター関係者に本研究会開催について案内を行い、その結果全国 43 都道府県より 175 名の参加者があった。10 名の相談員による講演では、全国の相談支援センター（10 施設）における工夫や取り組みに関する情報が共有された。また、質疑応答・ディスカッションでは、演者と参加者が共に議論し、さらなる相談支援セ

ンター機能の強化・充実へ向けての知見が共有された。

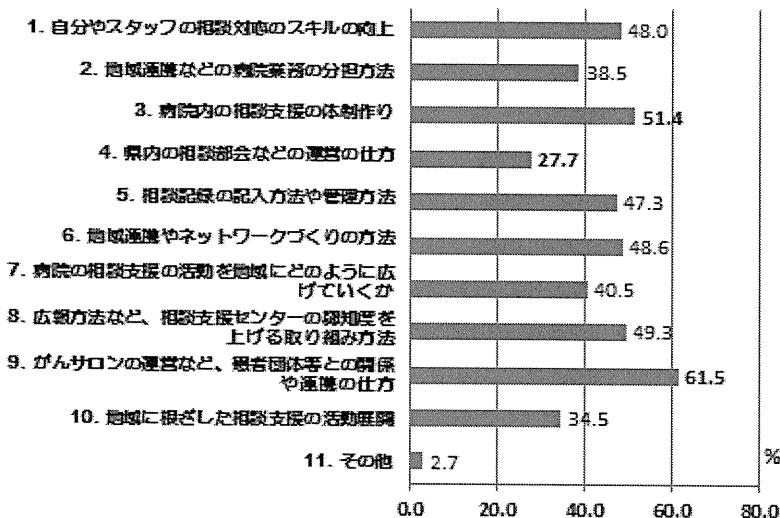
講演会に対するアンケート結果（回答数：148名）によると、講演会にて聞きたかった内容は、「がんサロンの運営など、患者団体等との関係や連携の仕方について」が91名（61.5%）と最も多く、次いで、「病院内の相談支援センターの体制作りについて」76名（51.4%）、「広報方法など、相談支援センターの認知度を上げる取り組み方法について」73名（49.3%）、「地域連携やネットワークづくりの方法について」72名

（48.6%）、「自分やスタッフの相談対応のスキル向上について」71名（48.0%）であった。（資料参照）

また、講演会を聞いてヒントが得られた内容は、「広報方法など、相談支援センターの認知度を上げる取り組み方法について」74名（50.0%）が最も多く、次いで、「病院内の相談支援の体制作りについて」67名（45.3%）、「がんサロンの運営など、患者団体等との関係や連携の仕方について」64名（43.2%）であった。

「がん相談支援講演会」で聞きたかった内容は？

参加者：175名、41都道府県より参加
事後評価アンケート148名回収分(84.7%)の集計結果



D. 考察

今回行った広報は、全国のがん診療連携拠点病院相談支援センター全施設が登録するメーリングリストを介して行ったが、43都道府県からの参加であったように、全国のこのような会への期待は高かったものと考えられる。また、事後の「がん相談支援研究会」で聞きたかった内容をみると、が

んサロンの運営などについてや院内の相談支援の体制づくりなど、個別の施設だけではヒントを見つけにくい内容が上位に挙げられていた。5年経過下とは言え、相談支援センターの取組みが病院にとっては新しいものであり、またそこで働く相談員にとってもまさに試行錯誤ゆえに、こうした他者から学びたいというニーズがあることが

考えられる。

そのため、今回のような全国の相談支援センターの関係者が集うことができる場は、相談支援センター相談員らを発信源として、互いの相談支援センター同士の情報共有の場や、相談支援の標準化や均てん化に向けた活動の一つとして非常に重要であると考えられる。

E. 結論

全国の相談支援センターに関わるものたちが互いの活動を知ることは、全国の相談支援センターの均てん化にも重要である。そこで、このたび、全国の相談支援センターに関わる人たちを対象とした講演会を企画し、情報共有の場に対して、どのようなニーズがあるのかについて検討を行った。企画した講演会には、全国 43 都道府県からの参加があり、アンケート調査の結果から、他者や他施設から学びたいとする相談支援関係者のニーズは高いと考えられた。今後このような場を作り、継続していくことが必要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

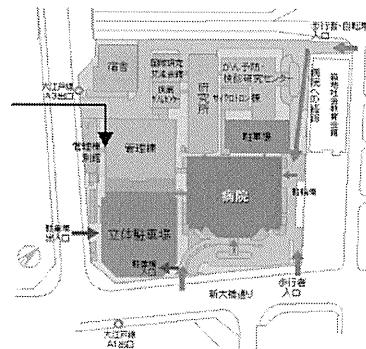
相談支援センターの活動の現状とさらなる機能充実に向けて ～がん相談支援講演会～

【開催主旨】

がん対策推進基本法(H19年)の施行以降5年目となり、がん診療連携拠点病院や相談支援センターの体制整備が徐々に進められてきました。相談支援センターでは、それぞれの地域や病院の特性に合わせて、徐々に新たな取り組みが始まっています。けれども、なかなか全国でのお互いの活動状況が見えないのが現状です。

相談支援センターで活躍されるみなさんのお互いの活動を知り、がんの相談支援について、さらに深めていける場をつくれないかということで、今回「がん相談支援講演会」を企画いたしました。当日は、全国北海道から九州までの相談支援センターの活動に携わっている10名の方々にお話しをしていただく予定です。相談支援の実務や運営に関わられる方など、ご関心のある方は是非ご参加ください。

- 日時：平成23年8月6日（土）11:00～17:00
- 場所：国立がん研究センター管理棟1階 特別会議室
 - ❖ 〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
都営大江戸線A3出口徒歩1分
- 対象：相談支援センターの実務担当者および関係者
- 人数：80～100名程度
- 参加費：無料（交通費は各自ご負担ください）
- 参加申込み方法
 - ❖ 【参加申込書】に必要事項をご記入の上、FAXまたは電子メールにて、下記『がん相談支援講演会およびワークショップ事務局』までお送りください。
 - 『がん相談支援講演会およびワークショップ事務局』株式会社ワークサポート内
 - FAX：027-386-6124、電子メール：ncc-shien@work-support.jp



主催：がん臨床研究事業「相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究（厚生労働科学研究費補助金）」研究班
研究代表者：高山智子（国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部）
電話：03-3542-2511（代表） 内線5685

- ★ 平成23年8月7日（日）に、『「がん相談支援のプロセスの検討」ワークショップ～ある胃がんの事例を考える～』を開催予定です。ご関心のある方は、そちらもぜひご応募ください。

【がん相談支援講演会の当日報告予定者および演題】(敬称略)

石川睦弓 静岡県立がんセンター

「相談記録ツールの紹介」

菊内由貴 四国がんセンター

「ここ最近の愛媛県の相談支援を取り巻く動向」

秋庭聖子 青森県立中央病院

「青森県の広報の方法と冊子等の情報の管理(仮)」

横川史穂子 長野市民病院

「緩和ケア・がん相談支援センターの紹介」

清水奈緒美 神奈川県立がんセンター

「(患者会) 自分を取りもどす活動サポート」

石田リツ子 JA 北海道厚生連 帯広厚生病院

「患者の視点に立った相談支援業務の取り組み」

大石美穂 佐賀県立病院好生館

「相談支援センター発信：地域連携ネットワーク構築への取組み」

米田悦子・織田浩子 国立大学法人 広島大学病院

「広島県のがん相談員意見交換会の取り組みの経緯」

川本たか子 奈良県立医科大学附属病院

「奈良県のがん相談連絡会の取り組み」

北村周子 三重県がん相談支援センター

「三重県がん相談支援センターの取り組みについて」

【参加申込書】

FAX または電子メールで、2011年7月7日（木）12:00までにお申し込みください。

『がん相談支援講演会およびワークショップ事務局』

FAX： 027-386-6124

電子メール： ncc-shien@work-support.jp

◎ 7月15日（金）までに、参加証をお送りいたします。

なお、8月7日（日）開催のワークショップについては、応募者多数の場合には、参加動機などを参考の上選考後ご連絡を差し上げます。

0. 参加ご希望の会に を入れてください。

「がん相談支援講演会」… 開催日時： 8月6日（土）11:00-17:00

「がん相談支援のプロセスの検討ワークショップ」

… 開催日時： 8月7日（日）10:00-16:30

（いずれか一つ、または、両方にお申し込みいただくことも可能です）

申し込み記入書

1	ふりがな お名前		
2	ご所属	病院名	
		1. がん診療連携拠点病院 2. その他の医療機関	
3	ご連絡先	部署名	(役職：)
		住 所	
		電話番号	
4	E-mail		
今回の研究会／ワークショップへの参加動機、期待すること			
8月7日（日）「がん相談支援のプロセス検討ワークショップ」参加ご希望の方は、 こちらもご記入ください。			
5	相談支援センターでの勤務形態	1. 専従 2. 専任 3. 兼任 4. その他 ()	
6	現在の職種	1. 福祉職 2. 看護職 3. 心理職 4. 事務職 5. その他 ()	
7	がん相談 件数	現在： _____ 件／週 (現在相談を受けていない場合:これまでの相談対応経験 1. あり 2. なし)	
8	基礎研修(3)の受講時期	1. H20 年度 2. H21 年度 3. H22 年度 4. H23 年度	

『がん相談支援講演会』アンケート

2011年 8月 6日

今後の企画や相談支援センターの現状を把握させて頂くために、ご協力を願いいたします。

I. はじめに、ご回答いただくあなたご自身のことについてお伺いします。

1) 施設所在地域 (都道府県)		都 道 府 県			
2) 病院の種類	1. がん専門病院	2. 大学病院	3. 総合病院	8. その他 ()	
3) 現在の職種	1. 福祉職	2. 看護職	3. 心理職	4. 事務職	5. その他 ()
4) がん相談支援に関わっている年数	1. なし	2. 1年未満	3. 1年以上 3年未満	4. 3年以上 5年未満	5. 5年以上

II. 本日のプログラムについてお伺いします。

1) 本日の講演プログラムの中で、①興味をもった内容、②ぜひ取り組んでみたい内容、はありましたか？ ①②それについて当てはまるところに○をつけてください。 ※複数回答可		① 興味をもった	② ぜひ取り組んでみたい
演題1. 「相談記録ツールの紹介」 石川睦弓 静岡県立がんセンター			
演題2. 「ここ最近の愛媛県の相談支援を取り巻く動向」 菊内由貴 四国がんセンター			
演題3. 「青森県の広報の方法と冊子等の情報の管理（仮）」 秋庭聖子 青森県立中央病院			
演題4. 「緩和ケア・がん相談支援センターの紹介」 横川史穂子 長野市民病院			
演題5. 「(患者会) 自分を取りもどす活動サポート」 清水奈緒美 神奈川県立がんセンター			
演題6. 「患者の視点に立った相談支援業務の取り組み」 石田リツ子 JA北海道厚生連 帯広厚生病院			
演題7. 「相談支援センター発信：地域連携ネットワーク構築への取組み」 大石美穂 佐賀県立病院好生館			
演題8. 「広島県のがん相談員意見交換会の取り組みの経緯」 米田悦子・織田浩子 国立大学法人 広島大学病院			
演題9. 「奈良県のがん相談連絡会の取り組み」 川本たか子 奈良県立医科大学附属病院			
演題10. 「三重県がん相談支援センターの取り組みについて」 北村周子 三重県がん相談センター			
2) 本日の講演プログラムを通して、 <u>新たに学んだこと</u> 、 あなたと参加者の皆さんとの力を合わせて、新たに取り組んでみたいこと、などありましたらご記入ください。			
3) 演題・演者へのコメントや、感想・ご意見などありましたらご記入ください			

III. あなたご自身の（相談員、あるいは、相談支援センターに関わる者の立場からみた）相談支援センターを取り巻く状況についてお伺いします。

1) がん相談支援活動に関して、他施設の相談員あるいは関係者等と情報交換をする機会（例、講演会や勉強会などの参加や開催、情報交換会など）は、どのくらいありますか。	1. 毎週	2. 月に2回程度	3. 2,3ヶ月に1回程度	4. 半年に1回程度	5. 1年に1回程度
2) あなたご自身が、都道府県のがん対策担当者と会って話す機会は、どのくらいありますか。	1. 定期的にある	2. 不定期がある	3. ほとんどない	4. 自分は関わっていないのでわからない	
3) 今後、自分たちで、相談支援に関わる研修会や勉強会、情報交換会などを行う予定はありますか。	1. すでに実施している	2. 具体的な予定が決まっている	3. 具体的な予定はないがやる予定である	4. 今のところ実施する予定はない	
4) 今回の「がん相談支援講演会」参加にあたっての旅費は、以下のどれにあたりますか。	1. すべて個人負担である	2. 一部、個人負担である（すべてではないが施設からの負担がある）	3. すべて施設負担である	4. その他（ ）	

IV. 本日参加の講演会と、あなたご自身の活動等について伺います。

1) 相談支援センターの活動について“知りたい・学びたい”等、①本日の「講演会」で聞きたかった内容は、どのような内容ですか。また、②本日の「講演会」を聞いて、相談支援センターの活動について、あなたご自身がヒントとなると考えられた内容は、どのような内容でしょうか。 <u>①②それぞれ当てはまるところに○をつけてください。</u>	① 聞きたかった内容は？	② ヒントが得られた内容は？
1. 自分やスタッフの相談対応のスキルの向上について		
2. 地域連携などの病院業務の分担方法について		
3. 病院内の相談支援の体制作りについて		
4. 県内の相談部会などの運営の仕方について		
5. 相談記録の記入方法や管理方法について		
6. 地域連携やネットワークづくりの方法について		
7. 病院の相談支援の活動を地域にどのように広げていくかについて		
8. 広報方法など、相談支援センターの認知度を上げる取り組み方法について		
9. がんサロンの運営など、患者団体等との関係や連携の仕方について		
10. 地域に根ざした相談支援の活動展開について		
11. その他（ ）		
12. その他（ ）		
13. その他（ ）		
2) 今、現場で困っていることや、 <u>ぜひ他施設の方々と話し合ってみたいこと</u> 、などありましたらご記入ください。		

ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました結果については、今後の活動の参考にさせて頂きます。

本日の講演会おつかれさまでした。

『がん相談支援講演会』アンケート 調査集計表

作成日：2011年9月15日

設問	選択肢	全体		病院の種類									
		度数	構成比	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答
				148	148	18	30	96	3	1	18	30	96
I. はじめに、ご回答いただくあなたご自身のことについてお伺いします。													
1)施設所在地域(都道府県)	01 北海道	4	2.7	1	0	3	0	0	5.6	0.0	3.2	0.0	0.0
	02 青森県	3	2.0	0	0	3	0	0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0
	03 岩手県	4	2.7	0	1	3	0	0	0.0	3.3	3.2	0.0	0.0
	04 宮城县	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	05 秋田県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	06 山形県	4	2.7	0	0	4	0	0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0
	07 福島県	3	2.0	0	1	2	0	0	0.0	0.0	3.3	2.1	0.0
	08 茨城県	7	4.8	0	1	5	1	0	0.0	3.3	5.3	33.3	0.0
	09 栃木県	2	1.4	0	2	0	0	0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	10 群馬県	7	4.8	0	2	5	0	0	0.0	6.7	5.3	0.0	0.0
	11 埼玉県	8	5.4	2	1	5	0	0	11.1	3.3	5.3	0.0	0.0
	12 千葉県	11	7.5	0	5	6	0	0	0.0	16.7	6.3	0.0	0.0
	13 東京都	18	12.2	9	6	3	0	0	50.0	20.0	3.2	0.0	0.0
	14 神奈川県	8	5.4	3	1	3	0	1	16.7	3.3	3.2	0.0	100.0
	15 新潟県	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	16 富山県	1	0.7	0	1	0	0	0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	17 石川県	4	2.7	0	0	4	0	0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0
	19 山梨県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	20 長野県	4	2.7	0	1	3	0	0	0.0	3.3	3.2	0.0	0.0
	22 静岡県	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	23 愛知県	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	24 三重県	5	3.4	0	0	4	1	0	0.0	0.0	4.2	33.3	0.0
	25 滋賀県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	26 京都府	5	3.4	0	2	3	0	0	0.0	6.7	3.2	0.0	0.0
	27 大阪府	7	4.8	2	1	4	0	0	11.1	3.3	4.2	0.0	0.0
	28 兵庫県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	29 奈良県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	30 和歌山县	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	31 鳥取県	3	2.0	0	1	2	0	0	0.0	3.3	2.1	0.0	0.0
	32 島根県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	33 岡山県	5	3.4	0	0	5	0	0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0
	34 広島県	1	0.7	0	1	0	0	0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	36 徳島県	1	0.7	0	1	0	0	0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	38 愛媛県	2	1.4	1	0	1	0	0	5.6	0.0	1.1	0.0	0.0
	39 高知県	2	1.4	0	1	1	0	0	0.0	3.3	1.1	0.0	0.0
	40 福岡県	3	2.0	0	0	3	0	0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0
	41 佐賀県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	42 長崎県	1	0.7	0	1	0	0	0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	43 熊本県	2	1.4	0	0	1	1	0	0.0	0.0	1.1	33.3	0.0
	46 鹿児島県	3	2.0	0	0	3	0	0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0
	無回答	1	0	0	0	1	0	0					
2)病院の種類	1. がん専門病院	18	12.2	18	0	0	0	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2. 大学病院	30	20.4	0	30	0	0	0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	3. 総合病院	96	65.3	0	0	96	0	0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	8. その他()	3	2.0	0	0	0	3	0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	1	0	0	0	0	0	1					
3)現在の職種	1. 福祉職	78	53.4	12	15	49	1	1	66.7	50.0	52.1	33.3	100.0
	2. 看護職	59	40.4	6	14	38	1	0	33.3	46.7	40.4	33.3	0.0
	3. 心理職	2	1.4	0	1	1	0	0	0.0	3.3	1.1	0.0	0.0
	4. 事務職	5	3.4	0	0	4	1	0	0.0	0.0	4.3	33.3	0.0
	5. その他()	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	無回答	2	0	0	0	2	0	0					
4)がん相談支援に関わっている年数	1. なし	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	2. 1年未満	25	17.0	4	6	15	0	0	22.2	20.7	15.6	0.0	0.0
	3. 1年以上3年未満	45	30.6	6	11	27	1	0	33.3	37.9	28.1	33.3	0.0
	4. 3年以上5年未満	43	29.3	6	6	31	0	0	33.3	20.7	32.3	0.0	0.0
	5. 5年以上	32	21.8	2	6	21	2	1	11.1	20.7	21.9	66.7	100.0
	無回答	1	0	0	1	0	0	0					
II. 本日のプログラムについてお伺いします。													
①本日の講演プログラムの中で、①興味をもった内容、②ぜひ取り組んでみたい内容、はありましたか？													
①②それについて当てはまるところに○をつけてください。※複数回答可													
演題1.「相談記録ツールの紹介」石川睦弓 静岡県立がんセンター													
①興味をもった 65 43.9 ②ぜひ取り組んでみたい 5 15 42 3 0 27.8 50.0 43.8 100.0 0.0													
演題2.「ここ最近の愛媛県の相談支援を取り巻く動向」菊内由貴 四国がんセンター													
①興味をもった 97 65.5 ②ぜひ取り組んでみたい 19 12.8 1 4 14 0 0 5.6 13.3 14.6 0.0 0.0													
演題3.「青森県の広報の方法と冊子等の情報の管理(仮)」秋庭聖子 青森県立中央病院													
①興味をもった 97 65.5 ②ぜひ取り組んでみたい 50 33.8 1 14 34 0 1 5.6 46.7 35.4 0.0 100.0													
演題4.「緩和ケア・がん相談支援センターの紹介」横川史穂子 長野市民病院													
①興味をもった 107 72.3 14 22 68 3 0 77.8 73.3 70.8 100.0 0.0 ②ぜひ取り組んでみたい 39 26.4 0 9 29 1 0 0.0 30.0 30.2 33.3 0.0													
演題5.「(患者会)自分を取りもどす活動サポート」清水奈緒美 神奈川県立がんセンター													
①興味をもった 89 60.1 9 19 58 3 0 50.0 63.3 60.4 100.0 0.0 ②ぜひ取り組んでみたい 34 23.0 3 9 22 0 0 16.7 30.0 22.9 0.0 0.0													

『がん相談支援講演会』アンケート 調査集計表

作成日：2011年9月15日

設問	選択肢	全体		病院の種類									
		度数	構成比	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答
		148	148	18	30	96	3	1	18	30	96	3	1
演題6.「患者の視点に立った相談支援業務の取り組み」石田リツ子 JA北海道厚生連 帯広厚生病院	①興味をもった ②ぜひ取り組んでみたい	84 13	56.8 8.8	12 1	19 1	49 11	3 0	1 0	66.7 5.6	63.3 3.3	51.0 11.5	100.0 0.0	100.0 0.0
演題7.「相談支援センター発信・地域連携ネットワーク構築への取組み」大石美穂 佐賀県立病院好生館	①興味をもった ②ぜひ取り組んでみたい	101 41	68.2 27.7	12 0	20 13	67 27	2 1	0 0	66.7 0.0	66.7 43.3	69.8 28.1	66.7 33.3	0.0 0.0
演題8.「広島県のがん相談員意見交換会の取り組みの経緯」米田悦子・織田浩子 国立大学法人 広島大学病院	①興味をもった ②ぜひ取り組んでみたい	86 36	58.1 24.3	12 3	21 11	50 21	2 1	1 0	66.7 16.7	70.0 36.7	52.1 21.9	66.7 33.3	100.0 0.0
演題9.「奈良県のがん相談連絡会の取り組み」川本たか子 奈良県立医科大学附属病院	①興味をもった ②ぜひ取り組んでみたい	84 26	56.8 17.6	10 1	21 6	51 18	2 1	0 0	55.6 5.6	70.0 20.0	53.1 18.8	66.7 33.3	0.0 0.0
演題10.「三重県がん相談支援センターの取り組みについて」北村周子 三重県がん相談支援センター	①興味をもった ②ぜひ取り組んでみたい	84 12	56.8 8.1	13 0	19 1	51 10	1 1	0 0	72.2 0.0	63.3 3.3	53.1 10.4	33.3 33.3	0.0 0.0
2) 本日の講演プログラムを通して、新たに学んだこと、あなたと参加者の皆さんの力を合わせて、新たに取り組んでみたいこと、などありましたらご記入ください。	※記述回答												
3) 演題・演者へのコメントや、感想・ご意見などありましたらご記入ください。	※記述回答												
III. あなたご自身の(相談員、あるいは、相談支援センターに関わる者の立場からみた)相談支援センターを取り巻く状況についてお伺いします。													
1) がん相談支援活動に関して、他施設の相談員あるいは関係者等と情報交換をする機会(例: 講演会や勉強会などの参加や開催、情報交換会など)は、どのくらいありますか。	1. 毎週 2. 月に2回程度 3. 2,3ヶ月に1回程度 4. 半年に1回程度 5. 1年に1回程度 無回答	2 10 48 48 25 15	1.5 7.5 36.1 36.1 18.8 /	1 2 7 5 1 2	0 3 9 9 9 0	1 5 31 32 14 13	0 0 1 1 0 0	0 0 43.8 31.3 6.3 /	6.3 0.0 12.5 30.0 30.0 /	0.0 10.0 37.3 30.0 38.6 /	1.2 6.0 33.3 33.3 16.9 /	0.0 0.0 0.0 0.0 33.3 /	
2) あなたご自身が、都道府県のがん対策担当者と会って話す機会は、どのくらいありますか。	1. 定期的にある 2. 不定期がある 3. ほとんどない 4. 自分は関わっていないのでわからない 無回答	13 25 75 28 7	9.2 17.7 53.2 19.9 /	1 3 3 10 1	0 6 19 3 2	11 16 51 14 4	1 0 1 1 0	0 0 1 0 0	5.9 17.6 17.6 58.8 /	0.0 21.4 67.9 10.7 /	12.0 17.4 55.4 15.2 /	33.3 0.0 33.3 33.3 0.0	
3) 今後、自分たちで、相談支援に関わる研修会や勉強会、情報交換会などを行う予定はありますか。	1. すでに実施している 2. 具体的な予定が決まっている 3. 具体的な予定はないがやる予定である 4. 今のところ実施する予定はない 無回答	34 17 35 56 6	23.9 12.0 24.6 39.4 /	10 2 2 4 1	4 4 5 16 0	19 11 27 34 5	1 0 0 2 0	0 0 1 0 0	55.6 11.1 11.1 22.2 /	13.8 13.8 17.2 55.2 /	20.9 12.1 29.7 37.4 /	33.3 0.0 100.0 66.7 /	
4) 今回の「がん相談支援講演会」参加にあたつての旅費は、以下のどれにありますか。	1. すべて個人負担である 2. 一部、個人負担である(すべてではないか施設からの負担がある) 3. すべて施設負担である 4. その他() 無回答	54 15 71 5 3	37.2 10.3 49.0 3.4 /	12 2 4 0 0	12 5 53 1 0	29 8 53 5 3	1 0 1 1 0	0 0 1 0 0	66.7 11.1 22.2 0.0 /	40.0 16.7 40.0 3.3 /	31.2 8.6 57.0 3.2 /	33.3 0.0 100.0 33.3 /	
IV. 本日参加の講演会と、あなたご自身の活動等についてお伺いします。													
1) 相談支援センターの活動について“知りたい・学びたい”等、①本日の「講演会」で聞きたかった内容は、どのような内容ですか。また、②本日の「講演会」を聞いて、相談支援センターの活動について、あなたご自身がヒントとなると考えられた内容は、どのような内容でしょうか。①②それぞれ当てはまるところに○をつけてください。	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	71 23	48.0 15.5	13 3	13 2	43 17	2 1	0 0	72.2 16.7	43.3 6.7	44.8 17.7	66.7 33.3	0.0 0.0
2. 地域連携などの病院業務の分担方法について	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	57 43	38.5 29.1	7 2	14 8	35 30	0 2	1 1	38.9 11.1	46.7 17.2	36.5 29.7	0.0 0.0	100.0 100.0
3. 病院内の相談支援の体制作りについて	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	76 67	51.4 45.3	8 8	17 16	48 41	2 1	1 1	44.4 44.4	56.7 53.3	50.0 42.7	66.7 33.3	100.0 100.0
4. 県内の相談部会などの運営の仕方について	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	41 43	27.7 29.1	6 3	8 11	26 27	1 2	0 0	33.3 16.7	26.7 36.7	27.1 28.1	33.3 66.7	0.0 0.0
5. 相談記録の記入方法や管理方法について	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	70 59	47.3 39.9	8 7	14 13	47 38	1 1	0 0	44.4 38.9	46.7 43.3	49.0 39.6	33.3 33.3	0.0 0.0
6. 地域連携やネットワークづくりの方法について	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	72 55	48.6 37.2	12 6	16 12	42 36	2 1	0 0	66.7 33.3	53.3 40.0	43.8 37.5	66.7 33.3	0.0 0.0
7. 病院の相談支援の活動を地域にどのように広げていくかについて	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	60 48	40.5 32.4	5 3	10 11	43 33	2 1	0 0	27.8 16.7	33.3 36.7	44.8 34.4	66.7 33.3	0.0 0.0
8. 広報方法など、相談支援センターの認知度を上げる取り組み方法について	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	73 74	49.3 50.0	11 5	15 18	46 51	1 0	0 0	61.1 27.8	50.0 60.0	47.9 53.1	33.3 0.0	0.0 0.0
9. がんサロンの運営など、患者団体等との関係や連携の仕方について	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	91 64	61.5 43.2	9 4	19 12	61 47	1 0	1 1	50.0 22.2	63.3 40.0	63.5 49.0	33.3 0.0	100.0 100.0
10. 地域に根ざした相談支援の活動展開について	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	51 34	34.5 23.0	7 3	15 6	28 23	1 2	0 0	38.9 16.7	50.0 20.0	29.2 24.0	33.3 66.7	0.0 0.0
11. その他()	①聞きたかった内容は? ②ヒントが得られた内容	4 0	2.7 0.0	0 0	1 0	3 0	0 0	0 0	0.0 0.0	3.3 0.0	3.1 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
2) 今、現場で困っていることや、ぜひ他施設の方々と話し合ってみたいこと、などありましたらご記入ください。	※記述回答												

III. 研究成果の刊行に関する報告

研究成果の刊行に関する一覧 平成21年度

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石川睦弓、北村有子		静岡県立静岡がんセンター（編）	がん看護研修マニュアル	南江堂	東京都文京区	2010	19-22
唐渡敦也	がん診療における地域連携室の役割	岡田晋吾 谷水正人	パスでできる！がん診療の地域連携と患者サポート	医学書院	東京都文京区	2009	107-112
唐渡敦也	がん医療を変えるために	秋山正子	メディカルタウンの対話力	EDITEX	東京都文京区	2009	42-52

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
船田千秋, 菊内由貴, 重岡清香, 松本裕美子	がん相談支援部門での相談対応情報のデータ化と実際	中国四国地区 国立病院機構・国立療養所看護研究学会誌	5巻	292-295	2009
松本裕美子, 菊内由貴, 船田千秋, 重岡清香	退院調整体制強化のための病棟看護師へのアプローチ	中国四国地区 国立病院機構・国立療養所看護研究学会誌	5巻	42-45	2009
菊内由貴	【チーム医療】チーム医療における看護師の役割	医療	63(8)	498-500	2009
田所かおり, 神谷淳子, 中岡初枝, 芝美栄, 菊内由貴, 船田千秋	【退院調整と地域連携に生かすクリニカルパスと看護記録】退院調整連携パスを利用した退院支援事例 麻薬内服を拒否しながら強く退院を望んだ末期がん患者への支援	看護きろく と看護過程	19(1)	51-63	2009
菊内由貴	【在宅移行のためのマネジメント】事例でみる在宅移行と地域連携 地域との連携がうまくいった事例・いかなかつた事例	緩和ケア	19(2)	141-142	2009
松久哲章, 小暮友毅, 野本香, 田頭尚士, 江口久恵, 船田千秋, 菊内由貴, 谷水正人	がん化学療法における患者支援ツールの開発 経口抗がん剤の円滑な薬薬連携を目指して	日本クリニカルパス学会誌	11(2)	127-135	2009
大松重宏	がん診療連携拠点病院において相談支援センターはどうのような役割を担っているか	緩和ケア	20(1)	32-35	2010
唐渡敦也	大病院の医師・看護師とどう連携すればいい?	訪問看護と介護	15巻	182-185	2010
Okamoto N, Miyagi Y, Chiba A, Akaike M, Shiozawa M, Imaizumi A, Yamamoto H, Ando T, Ymakado M and Tochikubo O	Diagnostic modeling with differences in plasma amino acid profiles between non-cachectic colorectal/breast cancer patients and healthy individuals.	Int. J. Medicine and Medical Sciences	1	1 - 8	2009

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sakuma Y, <u>Okamoto N</u> , Saito H, Yamada K, Yokose T, Kiyoshima M, Asato Y, Amemiya R, Saitoh . H, Matsukuma S, Yoshihara M, Nakamura Y, Oshita F, Ito H, Nakayama H, Kameda Y, Tsuchiya E, Miyagi Y	A logistic regression predictive model and the outcome of patients with resected lung adenocarcinoma of 2cm or less in size.	Lung Cancer.	65	85-90	2009
Numasaki R, Miyagi E, Konnai K, Ikrda H, Yamamoto A, Onose R, Kato H, <u>Okamoto N</u> , Hirahara F and Nakayama H	Analysis of stage IVB endometrial carcinoma patients with distant metastasis;; a review of prognoses in 55 patients	Int J Clin Oncol	14	344-350	2009
Miyakawa K, Tarao K, Ohshige K, Morinaga S, Ohkawa S, <u>Okamoto N</u> , Shibuya A, Adachi S, Miura Y, Fujiyama S, Miyase S and Tomita K	High serum alanine amino-transferase levels for the first three successive years can predict very high incidenceof hepatocellular carcinoma in patient s with Child Stage A HCV-associated liver cirrhosis.	Scandinavian J Gastroenterology	44:	1340-1348	2009

研究成果の刊行に関する一覧 平成 22 年度

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
唐渡敦也	外来化学療法を実施する場合、病院（病診）連携で注意すべき点は何でしょうか？	伊藤良則 / 岩瀬拓士	乳癌診療 こんなときどうする Q&A	中外医学社	東京都 新宿区	2010年6月	241-243
唐渡敦也	医療連携ってなに？	石井浩	胆道がんの治療とケアガイド	金原出版	東京都 文京区	in press	in press

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
石川睦弓	がん患者・家族の抱える不安や悩み	外来看護	16(3)	067-079	2011
山田顕光、清水大輔、太田郁子、千葉明彦、岡本直幸、柳田康弘、猿木信裕、他	乳癌スクリーニングにおける血漿中アミノ酸測定の有用性	乳癌の臨床	25	108-109	2010
岡本直幸	胸部エックス線検査の有効性評価に関する研究	労働安全衛生法に基づく健康診断の有効性に関する調査研究報告書	平成 22 年 10 月	9-24	2010
岡本直幸	神奈川県のがん登録	JACR Monograph	16	61-71	2010
片山佳代子、岡本直幸	メッシュ法でみたがん罹患・死亡と社会経済的要因の関連	JACR Monograph	16	75-76	2010
高橋真由美、小川朝生、内富庸介、他	【うつを診る】各領域におけるうつ病診療とその対策の実際 緩和ケア領域におけるうつ病	総合臨床	59	1224-1230	2010
小川朝生	精神科医への期待 いま進められている事業から	精神神経学雑誌	112	1010-1017	2010
大谷恭平、小川朝生、内富庸介、他	サバイバーにおける認知機能障害	腫瘍内科	5	202-210	2010
小川朝生	在宅ケア各論 第5回	温	第5号	13-15	2010
小川朝生	【がんの告知と看護師の役割 看護師のコミュニケーション技術】医療者間のコミュニケーション	がん看護	15	50-52	2010

雑誌（日本語：続き）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
白井由紀, 小川朝生, 内富庸介	がん治療中の患者の精神症状	エビデンスに もとづいた Oncology Nursing	総集編	163-167	2010
小川朝生	がんチーム医療におけるコミュニケーション・スキル	Oncology Nursing	1	22-25	2010
加藤雅志	がん患者のこころーがん対策基本法で何が変わっていくのか	現代のエスプリ	517	21-29	2010
加藤雅志	緩和ケアのあるべき姿	臨床精神医学	39(7)	855-860	2010
加藤雅志	エビデンスに基づく緩和ケア、精神腫瘍学	腫瘍内科	7(1)	62-69	2011
菊内由貴	【病棟で退院支援を行える人材はこう育てる!】退院調整連携パスの活用と退院支援定着への取り組み	地域連携入退院支援	3(2)	29-35	2010
関由起子、高山智子	看護師の多重課題及び業務中断の検討ーTime and Motion Study, ビデオ分析法を用いてー	保健医療社会学論集	21(1)	39-51	2010

雑誌（外国語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shimizu, K., Ogawa, A., Uchitomi, Y., et al	Feasibility and usefulness of the 'Distress Screening Program in Ambulatory Care' in clinical oncology practice	Psychooncology	19	718-725	2010
Asai, M., Ogawa, A., Uchitomi, Y., et al	Psychiatric disorders and stress factors experienced by staff members in cancer hospitals: a preliminary finding from psychiatric consultation service at National Cancer Center Hospitals in Japan	Palliative Support Care	8	291-295	2010
Ogawa, A., Uchitomi, Y., et al	Involvement of a psychiatric consultation service in a palliative care team at the Japanese cancer center hospital	Jpn J Clin Oncol	40	1139-1146	2010

研究成果の刊行に関する一覧 平成 23 年度

書籍

著者氏名	タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
唐渡敦也	「がん」に活路見いだす中小病院		特集 拠点病院だけに任せておけない!	日経ヘルスケア	東京都港区	2011	24-25
唐渡敦也	医療連携室からのメッセージ		在宅医療 「はじめの一歩」	日本医事新報社	東京都千代田区	2011	45-49
唐渡敦也	社会的責任や顧客満足に基づく医療連携を目指して		講演集	日本医業経営コンサルタント学会	東京都中央区	2011	63-70

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
菊内由貴	【根拠がわかるがん看護ベストプラクティス】がん患者へのケアとエビデンス 症状マネジメントとケアのエビデンス イレウス(解説/特集)	がん看護	17(2)	195-198	2012
稻田真理子, 菊内由貴, 廣澤光代, 松本裕美子, 中越海春, 船田千秋	入退院を繰り返す患者の事例を通しての退院調整看護師としてのかかわり 地域と共に、患者と家族の意思決定を支える	中国四国地区 国立病院機構・国立療養所看護研究学会誌	7	65-68	2012
谷水正人, 船田千秋, 菊内由貴	【"がん診療"を内科医が担う時代】がん診療と地域連携(解説/特集)	Medicina	48(13)	2140-2143	2011
小川朝生	(Q) transcranial magnetic stimulation(TMS)の実施状況.	日本医事新報		55-56	2011,
小川朝生	「怒る」患者—隠れているせん妄をみつける	看護技術	57	70-73	2011
小川朝生	せん妄を家族に説明する	看護技術 ,	57	172-175	2011,
小川朝生	せん妄と認知症の症状の見分け方	看護技術,	57	250-253	2011
小川朝生	レスキューが効かない痛み	看護技術	57:	337-340	2011
小川朝生	せん妄患者への声のかけ方	看護技術	57	565-568	2011
小川朝生	あなたみたいな若い人にはわからないわよ	看護技術	57	668-671	2011
小川朝生	患者だけではなく家族も不安	看護技術	57	741-744	2011
小川朝生	告知の後に患者さんが泣いています	看護技術	57	846-849	2011
小川朝生	傾聴で解決できること、できないこと	看護技術	57	932-935	2011
小川朝生	予期悲嘆は起こさなければならないのか。	看護技術	57	1023-1025	2011